

PORT OF THE YEAR 2025

情報誌「港湾」の読者が選ぶ ポート・オブ・ザ・イヤー 2025に 青森港 [青森市] が決定！

情報誌「港湾」では、港湾の物流、人流、産業、観光、みなとまちづくりなど各種港湾活動その他みなとに関する話題づくりに、その年で最も優れ、わが国の港湾・臨海部の活性化に寄与し、「みなとの元気」を高めた港湾を「ポート・オブ・ザ・イヤー」として、2003年より選定しています。

今年度も推薦書を公募して投票を募り、全国から多くの投票をいただきました。集計の結果、ポート・オブ・ザ・イヤー 2025は青森港に決定しました。

ポート・オブ・ザ・イヤー 2025 青森港

「みなとの元気」を高めたと評価された点

- ▶開港400周年を迎え、歴史を振り返る機会となり、市民がみなとまち青森に愛着や誇りを持つきっかけとなった。開港400周年の記念事業に官民一体となって取り組み、季節毎に様々なイベントが民間主体のものを含めて多数開催されており、「Sea級グルメ全国大会」「北東アジア港湾シンポジウム」など全国的、国際的なイベントも盛会となった。
- ▶フェリーを中心とした本州～北海道間の物流拠点としての役割に加え、クルーズ船寄港数は東北一で過去最高を更新しており、青森県の経済活性化に絶大な効果をあげている。
- ▶街とみなとが非常に近く、青い海公園やアスパム、青森ラブリッジ、親水性防波堤など親水性に富むウォーターフロント空間が先駆的に整備され、近年、ワ・ラッセ、A-FACTORY、駅前ビーチも加わり、市民だけでなく観光客やクルーズ客で賑わっている。「世界で最もラグジュアリーな寄港地観光ツアー」にも選ばれ、世界的な評価も得ている。
- ▶「自然エネルギーの利活用」「カーボンニュートラル」「ブルーカーボン」「生物多様性」といったキーワードに着目し、洋上風力発電基地港湾整備の本格始動、駅前ビーチでのアマモの育成など、環境に配慮した持続可能な港を目指している。



青森港新中央埠頭

選定された青森港に対して賞状及び楯が授与されるほか、情報誌「港湾」2月号に同港の「みなとの元気」紹介記事が掲載されます。なお、ポート・オブ・ザ・イヤー 2025の授賞式は、令和8年1月22日に執り行われます。

(公社)日本港湾協会協会事務局企画部